

## 第51回県高等学校新人テニス競技大会の開催における感染予防ガイドライン

本ガイドラインは、日本スポーツ協会、日本テニス協会がこれまでに発表したガイドライン等の情報によって、鹿児島県テニス協会が感染拡大予防のための留意点をまとめたものに基づいています。大会に参加される選手・会場に来場される応援者の皆様におかれましては、大変ご不便をおかけしますが、皆様の安全安心を守るためという趣旨をご理解の上、大会にご参加いただきますようお願いいたします。なお、大会の開催にあたっての基本的な考え方については、県高体連が示す「令和2年度県高等学校新人体育大会等の開催における感染拡大予防ガイドラインについて」をご覧ください。ご不明な点は、鹿児島県高体連テニス専門部 藺牟田 (080-3187-0008)までお問い合わせください。チームの申込責任者以外の方からのお問い合わせには応じかねますので、ご了承ください。

### 1 選手・引率者・応援者の方へお願い

- (1) 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加・来場を見合わせてください。
  - ① 体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
  - ② 同居家族や身近な知人に感染の疑われる方がいる場合
  - ③ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
  - ④ その他、新型コロナウイルス感染の可能性がある症状がある方
- (2) 出場する全選手および引率者は、9月26日(土)から大会期間中の検温を行ってください。また、別紙「体調チェック表(生徒用・引率者用)」に基づいた、体調チェックをお願いします。
- (3) マスクを持参してください。

試合を行っている選手以外の来場者は、必ずマスクを着用してください。熱中症の恐れがあるため、プレー中のマスク着用は不要です。

※ マスクの着用がない方は、入場をお断りする場合があります。
- (4) 大会会場のスタンドに立ち入ることができるのは、日程に示した時間帯に試合のある選手だけです。大会本部の許可なく、それ以外の選手が応援のためにスタンドに入ることはできず、大会本部の定める場所で待機してください。なお、審判等試合の進行上必要と判断される場合に限り、コートに入ることを認めます。
- (5) 来場の応援者は、選手の保護者に限ります。応援は、スタンドではなく、大会本部の定める応援スペースで行ってください。応援スペースに入場する際には、名簿への記名をお願いいたします。なお、大会会場で選手と接触することを禁じます。また、8月開催のサマージュニアテニス大会を踏まえ、本大会に参加される選手が試合に集中できる環境を作るにあたり、大会運営に関する応援者からのご要望には一切応じかねますので、予めご了承ください。引率者は、大会当日の応援者を把握し、応援者の有無に関わらず各日の日程終了後に、別紙「保護者入場者名簿」を提出してください。
- (6) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を行い、タオル・ウェア・キャップなどの用具・用品の共用は避けてください。
- (7) 選手・応援者・役員は接触を避け一定の間隔(できるだけ2m以上)を確保することを心がけてください。バッグ・チェア・手荷物等の保管場所の間隔も、なるべく空けてください。

※障がい者の誘導や介助を行う場合を除きます。

- (8) 会場で大きな声で会話をすることは避け、応援は拍手のみとします。
- (9) 飲食の際は、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話は控えめにしてください。また、飲み物の回し飲みはしないでください。
- (10) 会場内で購入したドリンク類、他から持ち込んだ飲食物などのゴミ類(使用済マスク・ティッシュ等)は必ず全て自分で持ち帰ってください。
- (11) 試合終了後は、速やかにご帰宅ください。
- (12) その他、主催者の定めた感染症予防対策の措置や指示に従うようお願いします。

## 2 試合の手順

- (1) 引率者は出場する全選手の体調チェック表を確認する。その後、本部の混雑状況を確認して、エントリー受付をする。その際、⑩の項目に○×を記した引率者用体調チェック表のみを提出する。大会前の体調の状態から新型コロナウイルス感染症の感染が疑われる場合や当日のいずれかの項目に×がついている選手がいた場合は、保護者および管理職に連絡して帰宅させる。  
※ 体調チェック表を提出されない選手は、当日の体調に関係なく試合に出場できない場合があります。
- (2) 選手は、オーダーオブプレイ板にて、試合コート・進行状況を確認する。密集を避けるため、周辺に留まらない。
- (3) エントリー番号の若い選手は、本部にてボールを受け取っておく。試合が次に控えるときは、コートのそばの多くの人が集まらない場所で待機する。
- (4) 前の試合が終了したら、選手が完全にコートから退場した後に入場する。そのため、試合を終えた選手は、ベンチ・審判台・得点板・タオルホルダー等を除菌した後、速やかにコートから退出する。
- (5) 試合開始前の挨拶とトス、試合後の挨拶はネットから1m以上離れて行い、試合後の握手はしない。
- (6) 主審のポイントコールは通常通り行う。
- (7) ダブルスではインプレー中以外はペアとの距離を保ち、至近距離の会話・ハイタッチ・握手は避ける。
- (8) ラケットやボールなどプレイに必要なもの以外は、コートサーフェスを含めできるだけ手を触れない。
- (9) スコアボードは、コートチェンジの際に自分のスコアのみ変える。
- (10) 試合の勝者は、オーダーオブプレイ板に貼られた自分のボードを取り、それより下に貼られたボードを上上げる。ボールを本部に返却し、自分のボードを提出して結果報告をする。前に別の報告者がいるときは、距離を保って待つ。
- (11) 試合終了後は、必ず手洗い・消毒等をする。
- (12) 感染予防対策を優先するため、開会式・閉会式は縮小した形で行う。